

横浜 YMCA 学院専門学校
2023 年度 教育課程編成委員会 議事録

開催日時:2024 年 3 月 26 日(火)13:00~14:00

開催場所:本校 6 階 605 教室/及びオンライン ZOOM にて実施

参加者:上羽 航・立花 明美・遠藤 陵晃・山下 忠司

欠席者:奥原 孝幸

(敬称略・順不同)

1. 開会・校長挨拶

2023 年度より校長が青木から立花明美に変更、予算執行責任者として山下忠司が担当し、運営を実施。また、学科長が遠藤陵晃に変更となり、学校運営の状況の変化と 2023 年度の運営状況を振り返り報告。

2. 2023 年度カリキュラムについて

予算執行責任者の山下忠司及び学科長の遠藤陵晃より説明がなされた。

2023 年度から始まった臨床実習Ⅴについて

学生が臨床実習を行う施設の種別に規定があるためデータベース化を進め、漏れないように引き続き、管理していく。1年間を振り返り、特に運営上の問題はなかった。

新カリキュラム提出時(2019 年)の内容で 4 年次の授業時間数が 800 時間を満たしていなかったため、実習時間数の見直しや、「老年期の作業療法治療学」の時間数を増やしている(30 時間→60 時間)。時間数と開講時期の変更を行い、旧カリキュラム対象者2名と同時並行で運営をした。

旧カリキュラム2名については1名が留年をしてしまったが、新カリキュラムの学生については現役4年生9名全員が卒業をし、国家試験についても無事に全員が合格を果たした。9名全員が4月より就職をした。

<意見交換>

上羽委員より

現場が求めている人材・入職した際に求められる力についてご意見を伺った

⇒ 現場も以前よりも入職時に求められるスキル等は高くない。又、入職時にすぐに診療が出来る人材よりも人間性や社会人としての最低限のマナーを学校でしっかり身に付けてほしい。技術は病院や施設に入ってから学ぶ事でも成長していける側面が強い。また、作業療法士として就職をした後にも勉強会等に参加して常に学習する事で成長していける。

学校ではサポートが特に必要だった学生さんでも入職後、意識が変わり成長をした作業療法士もいる。学校では継続して学ぶ事の大切さや、常に興味を持って取り組む姿勢、精神面の指導をお願いしたい。

上羽委員より

臨床実習についてのご意見と学校側に求めるものを伺った

⇒ 基本的な事だが、臨床実習に毎日、出席し、休まず実習を終えるタフさを求めたい。

横浜 YMCA 学院専門学校だけでなく、どの学校の学生さんも臨床実習を休まずに終える事ができない問題を抱えている。

※全ての臨床実習をクリア出来ている者もいるが、年々、体調不良等で休む学生が増えている印象がある。社会人から作業療法士を目指す学生さんと現役生とでは実習に取り組む姿勢等も異なっている。社会人から学校に入学し、学び直している学生さんは学ぶ意識が強く、優秀な方が多い。また、作業療法に対して興味を持って、学んでいる印象を受ける。

学校側には人間性を養う事、コミュニケーション能力、社会人としての最低限のマナーをしっかり身に付けることを授業等で取り組んでほしい。基本的な事だが、社会に出て、作業療法士になる為に必要な事だと考えている。

3. 閉会

本日いただいた意見を反映させながら、学生支援の場面や授業で取り組む内容(社会人としてのマナー)を身に付けられるように学校としても取り組んでいく。

今後も残り、2年間の運営の中で少しでも多く、社会に作業療法士を送り出せるように取り組んでいく。

※本校、作業療法科は 2022 年度より募集を停止している

以上